

## 引き続き

# CUBAPON の連帯活動への協賛カンパを呼びかけます。

皆様の平素のご協力と協賛に感謝申し上げます。

前年度（2021年6月～2022年5月）は、コロナ禍収束の見通が立たず恒例のキューバ友好訪問も2020年、2021年と実現できずにきましたが、皆様の支えによって、以下の活動を展開することができました。

●2020年1月から開始されたキューバの通貨改革後の状況、第8回共産党大会（2021年4月28日）後の状況を発信してきました。会報発行は年3回、Eメール発信は28回を数えました。

●昨年7月の“強いられた非通常戦争”下のキューバに、緊急支援として920,000円（医療器具支援）を届けてきました。

●コロナ禍で中断していましたドキュメンタリー映像「そしてイスラの土となる～日系キューバ移民の記録」のDVD版を完成することができました。これは、歴史に翻弄されながらも、“革命”の地キューバに爪痕を残し懸命に生きてきた無名の日本人・日系人の生きざまを歴史に埋もれさせないとの思いで、2007年以来映像をしたためてきたものです。

以上のような2021年度の活動に対し、2020年度以上の会費登録及び活動協賛カンパで、連帯のお心をいただけてきました。御礼申し上げます。

ウクライナで2014年のクーデター以来続いてきた内戦状態は2月のロシア軍の参戦により激化し、これに端を発した世界をまたぐ情報戦もより大きな規模で世界人民を巻き込んできております。

ウクライナの戦争状態は「停止」「休戦」への国際的ルールづくりこそ人知、経済、政治が動員されるべきでしょう。戦争は殺人です。それを煽り喧伝することは同罪です。戦争に勝者と敗者があるとすればそれは「国家」としてであり、人民は国と民族を越えいつも同等に被害者です。

さる、6月6日の第9回米州機構会議にキューバ、ベネズエラニカラグアが招待されないというバイデン政権の似非民主主義の姿とダブルスタンダード＝「民主専制主義」を見ることになりました。

「考え」や「意見」を表明する前に、その糧として、世界で何が起きているのかを見つめるため、CUBAPONは微力ながら発信していきたいと期しております。

2022年6月吉日

日本キューバ連帯委員会

事務局長 鎌田 篤則

